

## 事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	公園管理事業	会計名称	一般会計			担当課	都市住宅課		
		予算科目	8 款 5 項 2 目	事業番号	3750		所属長名	三谷陽紀	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）			担当責任者名			久保貴比古		
法令根拠等	都市公園法、伊予市公園条例			担当責任者名			【開始】	平成 18 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 住みやすい都市空間づくり			実施期間			【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	住みやすい都市空間づくりに努める。								
事業の対象	都市公園及びその他公園の施設利用者			事業の目的	だれもが快適に住みやすい環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。				
事業の内容(整備内容)	都市公園及びその他公園の維持管理運営			昨年度の課題に対する具体的な改善策					

## 事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳(千円)							事業活動の実績(活動指標)																	
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目		単位	29年度実績	30年度予定	9月末の実績	30年度実績										
財源内訳	直接事業費	28,871	38,068	0	11,363	0	46,999	光熱水費 修繕費・工事請負費 委託料	千円	1057	1511	545	978											
	国庫支出金		10,671	0	9,000	0	18,000																	
	県支出金		0	0	0	0	0																	
	地方債		9,800	0	0	0	9,600																	
	その他	1,778	1,182	0	0	0	1,395																	
	一般財源	27,093	16,415	0	2,363	0	18,004																	
職員の人工(にんく)数		0.70	0.70				0.70																	
1人工当たりの人工費単価		8,017	7,982				7,982																	
※ 直接事業費+人件費		34,483	43,655				52,586																	
主な実施主体		直接実施	実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				有料施設利用者数		人	10293	11850	9406	11576											
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)							31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	5年間の合計												
成果指標	指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数				単位  ⇒	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000											
	指標設定の考え方	快適に利用できる施設環境づくりを目指すためにも、施設の利用者数増が事業の評価と考えた。					区分年度	29年度	30年度	31年度	目標	毎年度												
							目標	1.01	1.01	1.01														
	指標で表せない効果						実績	0.95	1.05															

## 事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		五色浜公園内市道内に生えている神社の松の木について、緊急車両等の通行を妨げているので、地元や神社の理解を得て、処分しなければならない。										
事務事業の評価	事務責任者（評価）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	地元、神社宮司等を説得でき、松の木の処分が完了した。これにより、緊急車両等の通行がスムーズに行えることとなった。			
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 2 1 社会情勢又は行政管理業務に対応しておらず、見直しが必要である。	5							
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	3							
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決にならない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦労した点・課題	施設が老朽化しており、長寿命化計画に基づき、順次、老朽設備を更新する必要がある。			
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	5							
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	3							
		効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 3 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 市が管理や運営を行なう公園に関する事業であり、適正な維持管理により、公園施設利用者の利便性・快適性の維持に努める必要があるため。			
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3							
			市民（受益者）負担の適正	5 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	5							
		一次判定～所属長～	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識	公園利用者に快適な環境を提供するため、施設の現状を的確に把握し、計画に基づいた改修を行ない、適正な管理に努めなければならない。			
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	3							
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	3							
			事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に向けて対応できている。 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決にならない。	3							
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4							
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	3							
			手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 3 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3							
			市民（受益者）負担の適正	5 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3							

施 策 を 踏 ま え た  判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。  <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。  <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 ■ 安心して遊べる遊具の点検は確実に行い、事故を未然に防ぐこと。  <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。  <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。  <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。  <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の憩いの場として公園利用ができるよう、適切な管理運営をお願いしたい。</li> <li>・実施した修繕工事等の内訳を評価シートに記載すると分かりやすい。</li> <li>・最近は失われつつあるが、公園にはコミュニティ育成に寄与する機能がある。その意味でもしっかりと管理をお願いしたい。</li> <li>・指標は有料施設の利用者のみである。無料の公園管理も事業として実施していることを鑑みると、指標の再検討が必要かと思う。</li> </ul>
------------	------------------	--

#### 今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議 の 議 事	事業の方向性	コメント欄	
		引き続き、適正な管理を行うとともに、評価シートの記載については、指標も含め、もっと分かりやすくなるよう見直すこと。	